

建築基準法・金融公庫仕様書・JASS12と瓦施工法の変遷

年	大正12年 1923	昭和25年 1950	昭和33年 1958	昭和34年 1959	昭和40年 1971	昭和47年 1972	昭和48年 1973	昭和53年 1978	昭和56年 1981	昭和60年 1985	平成2年 1990	平成3年 1991	平成6年 1994	平成7年 1995	平成9年 1997	平成12年 2000	平成13年 2001	平成14年 2002	平成15年 2003	平成16年 2004	平成17年 2005	平成18年 2006	平成19年 2007	平成20年 2008	平成21年 2009	平成23年 2011	平成24年 2012	平成26年 2014	平成28年 2016	平成30年 2018	令和元年 2019	令和2年 2020	令和3年 2021	令和4年 2022		
主な自然災害	関東大震災 (9月1日)			伊勢湾 台風				宮城県沖 地震			19号台風	19号台風 (10月10日)		阪神淡路 大震災 (1月17日)		西取西部地震	雲予地震		宮城県北部 地震	新潟中越 地震 (7月26日)	13号 台風	伊豆半島 地震 (10月1日)				東日本大震災 (3月11日)										
建築基準法の 主な動き	建築基準法(昭 和25年)の制定。此後5年経過すると 改正されることとなる。 改正の際には改正の趣旨を明示する ことが求められる。	建築基準法(昭 和25年)の制定。此後5年経過すると 改正されることとなる。 改正の際には改正の趣旨を明示する ことが求められる。																																		
住宅金融 公庫仕様書の 主な動き																																				
日本建築学会 JASS12																																				
瓦葺きの 主な動き																																				
施工法の 変遷																																				

**建設省
告示109号**
昭和34年(1959年)10月10日
建設省告示第109号
瓦葺き屋根の構造
昭和34年(1959年)10月10日
建設省告示第109号
瓦葺き屋根の構造

**建築
基準法改正**
昭和12年(1927年)制定の建築基準法は、昭和34年(1959年)改正、昭和47年(1972年)改正、昭和56年(1981年)改正、平成2年(1990年)改正、平成3年(1991年)改正、平成6年(1994年)改正、平成7年(1995年)改正、平成9年(1997年)改正、平成12年(2000年)改正、平成13年(2001年)改正、平成14年(2002年)改正、平成15年(2003年)改正、平成16年(2004年)改正、平成17年(2005年)改正、平成18年(2006年)改正、平成19年(2007年)改正、平成20年(2008年)改正、平成21年(2009年)改正、平成23年(2011年)改正、平成24年(2012年)改正、平成26年(2014年)改正、平成28年(2016年)改正、平成30年(2018年)改正、令和元年(2019年)改正、令和2年(2020年)改正、令和3年(2021年)改正、令和4年(2022年)改正

**瓦屋根
標準設計・
施工ガイドライン
発行**
2001年(平成13年)に発行された「瓦屋根標準設計・施工ガイドライン」は、瓦葺き屋根の構造設計・施工に関する技術的指針を示す。このガイドラインは、建築基準法とJASS12を基に、瓦葺き屋根の構造設計・施工に関する技術的指針を示す。このガイドラインは、建築基準法とJASS12を基に、瓦葺き屋根の構造設計・施工に関する技術的指針を示す。

109号

**建築基準法
改正告示109号施行**
令和4年1月より新築住宅の瓦葺きの
施工方法は告示109号となる。
-告示は多数の告示である。
-告示は告示109号の告示に該当する。
-告示は告示109号の告示に該当する。

**瓦屋根標準設計・
施工ガイドライン 改訂**
2001年にガイドラインが発行されて以来、
行われた多くの試験結果を反映させ、
標準工法等の明確化、標準設計と構造
計算の明確化、告示109号での規定の充足
を反映した仕様の明確化がなされた。

業界でガイドライン工法を推奨する。

防災瓦の普及

ガイドライン工法の普及の徹底を図る。

